

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

				基準年月日	令和5年8月1日
調書番号	08-16	所管部	建設部	作成責任者	土木局河川砂防課長 上前 孝之
				担当係	河川計画係（内）29-323

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	大規模特定河川事業費、広域河川改修事業費（社会資本整備総合交付金）							
ふりがな 地区名	おひひろがわ 帯広川	市町村名	帯広市・芽室町	総事業費	26,388 百万円			
負担割合	国	66.7%	道	33.3%	市町村	—	その他	—
	17,592 百万円		8,796 百万円		— 百万円		— 百万円	

**事業目的・目標**

- 帯広川は、十勝川水系十勝川に合流する一級河川で、S28年(1953年)より帯広川の河川改修事業に着手。
- その後もS37年(1962年)8月の洪水により、流域全体で家屋浸水など多大な被害が発生。
- このため、S38年(1963年)に放水路である新帯広川に着手。S45年(1970年)には改修計画の見直しを行い、支川ウツベツ川、支川柏林台川の改修に着手。
- また、帯広川は十勝川合流点から9.0kmの区間、支川ウツベツ川は帯広川合流点から0.5kmの区間以外は市街地としての治水安全度が低いことから、治水計画の見直しを行い、市街地における治水安全度の向上のための改修に着手。
- 堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、帯広市西8条地区、芽室町中伏古地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。

【アウトカム】 等

- 改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 32,371戸→0戸
- 改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 2,204ha→0ha

事業概要	帯広川は、十勝川合流点上流2.5km地点から30.3kmの区間、放水路である新帯広川は十勝川合流点から上流0.9kmの区間、支川ウツベツ川は帯広川合流点から8.2kmの区間、その他の1支川を含む合計42.2kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量 Q=550m <sup>3</sup> /s (支川ウツベツ川Q=110m <sup>3</sup> /s)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			計画延長 L=42,200m	前回評価	今回評価	増減額
			築堤工 L=87,534m	2,445	2,650	205
			掘削工 L=42,200m	3,751	4,318	567
			護岸工 L=81,536m	10,494	10,868	374
			附帯工事 道路橋31橋等	2,460	2,460	0
			測量設計費 調査・設計	3,901	4,002	101
			用地補償費 用地買収・物件補償	2,090	2,090	0
			計	25,141	26,388	1,247

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 (河川改修等の治水対策) 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。
	関連する指標	—

II 公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費 (a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
							事前評価又は当初	S28 (1953)	S28 (1953)		H16 (2004)
前回再評価	S28 (1953)	S28 (1953)	H30 (2018)	H48 (2036)							
今回評価			R5 (2023)	R18 (2036)							

変更理由・内容（概要）

- (1)帯広川中流地区において、堤防天端舗装実施箇所が増による増額
- (2)土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額
- (3)資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>● S37年（1962年）8月 浸水被害が発生（浸水面積642ha、浸水家屋1,376戸）</li> <li>● S47年（1972年）9月 浸水被害が発生（浸水面積88ha、浸水家屋3戸）</li> <li>● S50年（1975年）8月 浸水被害が発生（浸水面積2ha、浸水家屋160戸）</li> <li>● S56年（1981年）8月 浸水被害が発生（浸水面積41ha）</li> </ul>															
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● S28年（1953年） 改修事業に着手</li> <li>● S38年（1963年） 放水路（新帯広川）に着手</li> <li>● S45年（1970年） 支川のウツベツ川、柏林台川の改修事業に着手</li> <li>● H24年（2012年） 帯広市より道に市街地の治水安全度を向上させる河川改修の要望</li> <li>● H26年（2014年）4月 当該計画区間の治水計画を見直した改修に着手</li> </ul>															
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 帯広市西8条地区、芽室町中伏古地区などの市街地及び農地 氾濫防止面積4,794ha（うち農地2,204ha）、浸水防止家屋32,371戸</li> </ul>															
4. 関連する事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業主体</th> <th>事業期間</th> <th>事業費(百万円)</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容										
事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容												

**IV 事業の実施状況**

1.進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画														
	施工(工種)区分	工事内容	S28	~	H7	~	25	~	R4	R5	R6	~	R18	進捗状況	事業費(百万円)
	築堤工	L=87,534m	←		L=87,534m		→				堤防天端舗装		堤防天端舗装	95%	2,650
	掘削工	L=42,200m	←		L=33,347m(暫定L=34,770m)		→						L=8,853m	57%	4,318
	護岸工	L=81,536m	←				L=70,350m						L=11,186m	78%	10,868
	附帯工事	道路橋31橋等			道路橋31橋等									100%	2,460
	測量設計費	調査・設計	←											82%	4,002
用地費及補償費	用地買収・物件補償	←											100%	2,090	

(2) 進捗状況

帯広川下流地区、上流地区、新帯広川(分水路)の整備が完了しているほか、帯広川中流地区、ウツバツ川、柏林台川の暫定整備が完了。今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはなく順調に進捗していく見込みである。

**a**

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。  
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2.事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R5現在	項目	R5現在	
	洪水被害防止効果	20,738,970	建設費	446,944	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2(2020))に基づき算出</li> <li>●効果は、洪水氾濫における直接被害額(家屋、公共土木施設、農地等)及び間接被害額(営業停止被害等)により年平均被害軽減期待額を算出</li> <li>●効果及び費用は、「整備期間+完了後50年間」で算出し、R5(2023)に現在価値化した値</li> <li>●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。</li> </ul>
			維持管理費	197	
	合計(B)	20,738,970	合計(C)	447,141	
B/C	前回算定年度: H30年度(2018年度)【再評価】 前回算定時B/C: 34.70(合計B)11,189,731 合計(C)322,512 変更理由:				
R5現在	46.38 ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・治水経済調査マニュアルの改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ・効果及び費用をR5(2023)に現在価値化したことなどによる。				

3.コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	施工の最適化	既設ブロックを小割してかごマットの中詰材に再利用	1
	施工の最適化	工事で発生するコンクリート殻を管理用通路の敷砂利に再利用	89

**V 評価**

1.必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業は、帯広市西8条地区、芽室町中伏古地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。</li> <li>● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>				
	<b>a</b>	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。			
2.事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 河畔林を極力保全している。</li> </ul> ※直近の評価以降における状況変化はない。				
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向				
3.事業達成の見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 帯広市、芽室町から事業の早期完成に向けての要望が出されている。</li> </ul> ※直近の評価以降における状況変化はない。				
	(3) その他の課題				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul> ※直近の評価以降における状況変化はない。				
4.対処方針	事業期間が長期に及ぶものの、現状では特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。				
	<b>a</b>	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。			
4.対処方針	<b>a</b>	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止			
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無

**VI 備考**

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価： 再評価：平成30（2018）年度評価 評価結果：継続（変更なし） B/C=34.70
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

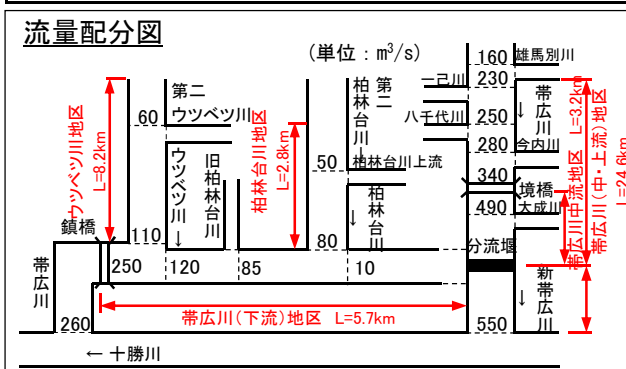
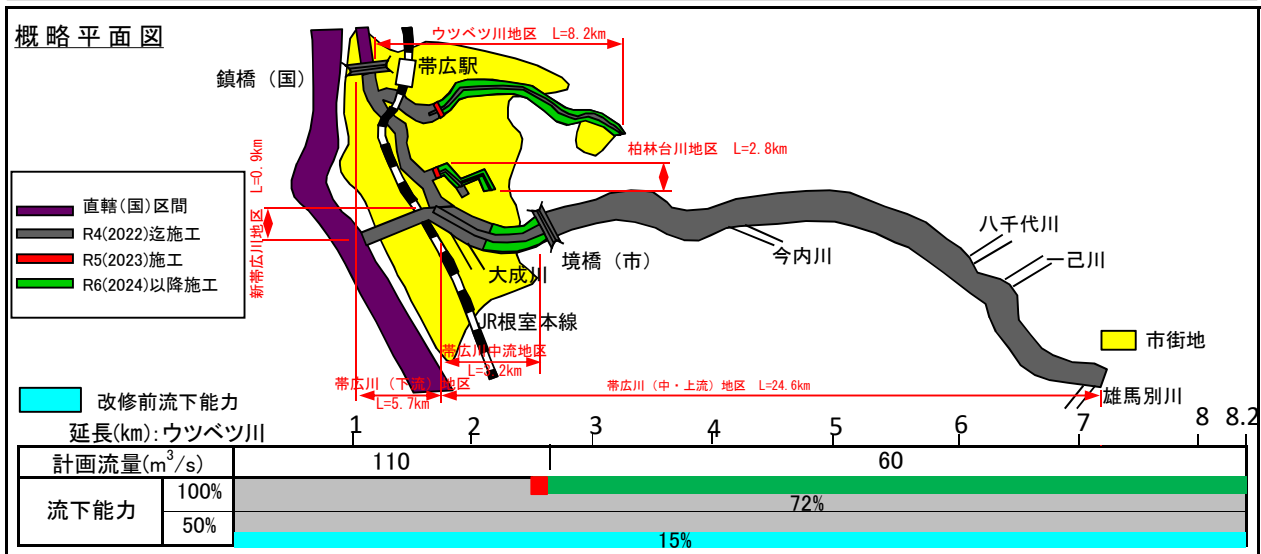
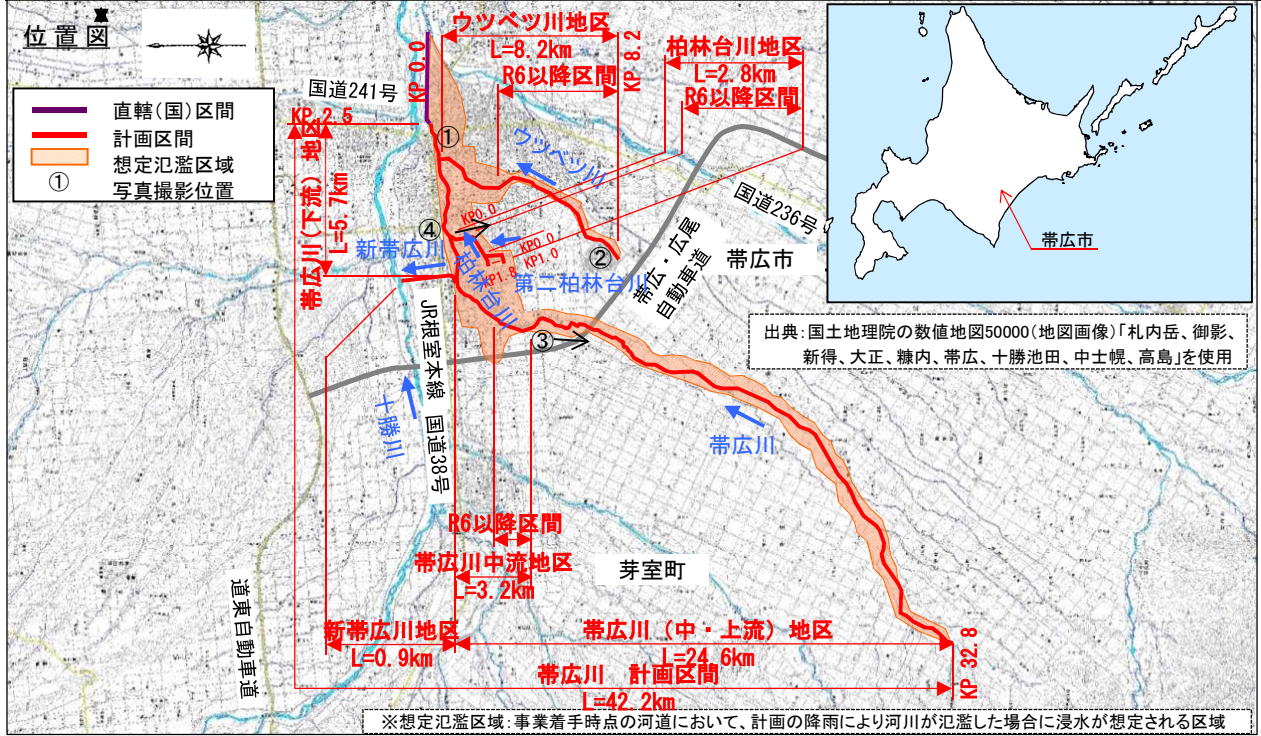
**補足資料**

**VII 事業計画変更 (単位：百万円)**

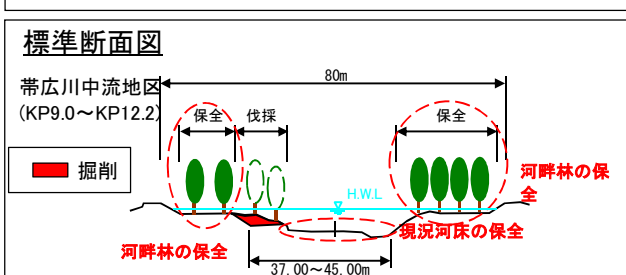
事業経過							事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	総事業費 (a)	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		S28 (1953)	S28 (1953)			H16 (2004)	15,732			
変更①	1回目			H15 (2003)	H15 (2003)	H18 (2006)	17,380			
変更②	2回目			H20 (2008)	H20 (2008)	H23 (2011)	18,240			
変更③					H23 (2011)	H26 (2014)	18,699			
変更④	3回目			H25 (2013)	H25 (2013)	H26 (2014)	18,699			
変更⑤					H26 (2014)	H40 (2028)	24,549			
変更⑥					H29 (2017)	H40 (2028)	24,604			
変更⑦	4回目			H30 (2018)	H30 (2018)	H48 (2036)	25,141			
変更⑧	5回目				R3 (2021)	R18 (2036)	25,346			
変更⑨	6回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R18 (2036)	26,388	255	21,294	81%
変更⑩										

<b>変更理由・内容</b>	<p>変更①：総事業費の変更 ・上流地区の護岸工等の事業費精査による増額</p> <p>変更②：事業期間・総事業費の変更 ・掘削土の残土運搬距離の延伸による増額 ・河畔林保全の検討に時間を要したこと、事業費の増額により事業期間を延伸</p> <p>変更③④：事業期間・総事業費の変更 ・河岸侵食防止のための護岸工を追加したことによる増額 ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸</p> <p>変更⑤：事業期間・総事業費の変更 ・帯広川、ウツベツ川、柏林台川の治水計画の見直しによる増額 ・事業費の増額に伴い事業期間を延伸</p> <p>変更⑥：総事業費の変更 ・帯広川中流地区において、堤防天端舗装を追加したことによる増額</p> <p>変更⑦：事業期間・総事業費の変更 ・資材、労務単価の上昇などによる増額 ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸</p> <p>変更⑧：総事業費の変更 ・帯広川中流地区において、堤防天端舗装実施箇所の増による増額</p> <p>変更⑨：総事業費の変更 ・土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額 ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額</p>
----------------	--

事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	帯広川	採択年度	S28 (1953)
-----	--	-----	-----	------	---------------



河川名	帯広川(下流)地区 (新帯広川)	帯広川(中・上流)地区	ウツベツ川	柏林台川
流域面積(km <sup>2</sup> )	34.3(141.9)	141.3	14.9	9.0
計画延長(km)	5.7(0.9)	24.6	8.2	2.8
氾濫面積(km <sup>2</sup> )		4,775		
計画雨量	41mm/hr	42mm/hr	42mm/hr	42mm/hr
計画高水流量(m <sup>3</sup> /s)	260(550)	550	110	80
計画勾配	1/650~1/300(1/317)	1/222~1/162	1/269~1/200	1/382~1/147



出水状況・河道状況

① 帯広川鎮橋付近の溢水氾濫(昭和37年8月)

② ウツベツ川道路冠水状況(昭和56年8月)

③ 境橋より上流方向(帯広川上流地区) R4.10撮影

④ 柏西第2号橋より上流方向(柏林台川地区) R4.10撮影

改修済区間  
未改修区間